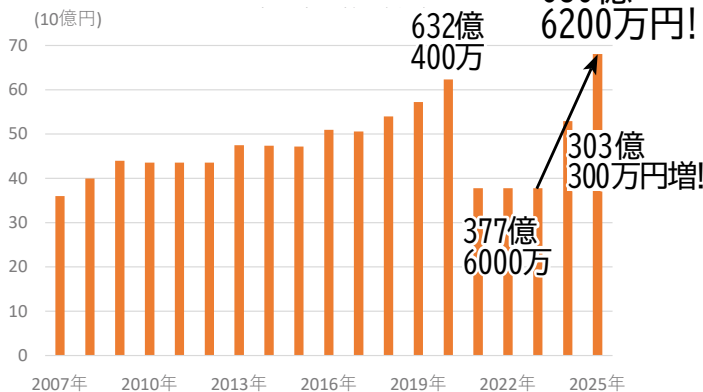


JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。info@doro-shien.site

JR東株主配当 過去最高 680億6200万円！

JR東日本の株主配当金



飲食料品・外食の主な値上げ

企業	時期	品目	値上げ幅
コカ・コーラ	10月1日出荷分	ペットボトル飲料など217品目	4.8%～23.0% (希望小売価格)
明治	6月1日出荷分	チョコレートなど34品目	約9～36% (出荷価格)
森永製菓	6月2日出荷分 10日発売分	チョコレート菓子7品目	約16～28% (出荷価格)
テーブルマーク	4月1日納品分	家庭用パックご飯	約11～36% (希望小売価格)
松屋	4月22日	牛めし(並)	30円値上げし、460円
吉野家	4月10日	牛丼(大盛、店内飲食)	44円値上げし、740円

現場にはコスト削減の矛盾

JR東日本の決算が4月30日に発表されました。25年3月期の連結経常利益は前の期比8.4%増の3215億円。5期連続増収、3期連続増益です。さらに株主配当は2年続けて大幅な増額で680億6200万円になり、コロナ禍前を上回る過去最高額を記録しています。21、23年の377億6千万からは2倍近い増額です。

一方で、現場には矛盾が押し付けられています。グループ会社には「コスト10%削減」を強

職場に必要なのは闘う労働組合

制し、要員削減と超低賃金を強制し続けています。実態は、「買いたたき」の下請法違反そのものです。それをJR東とCTSの天下り幹部が一体となってフタをしているのです。

JR本体でも全面的な外注化・分社化攻撃、実質賃下げや業務融合化、ジョブローテーションII強制配転などが強制されています。それで株主配当だけは大幅増額など許せません。

そもそも巨額の株主配当や役員報酬より、現場で働く労働者の生活を守るべきです。激しい

物価高は続いています。コメの値上がりは16週連続。4月に値上げした飲食料品は4千品目を超えています。大幅賃上げは当然の、切実な要求です。労働条件を改善する力も、外注化や融合化等の会社施策に対抗する力も、職場からの声と団結した闘いにあります。職場には闘う労働組合が必要です。